

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 2 日 (2017.3.2)

【公表番号】特表 2016-512281 (P2016-512281A)

【公表日】平成 28 年 4 月 25 日 (2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報 2016-025

【出願番号】特願 2016-502112 (P2016-502112)

【国際特許分類】

C 0 8 G 69/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 69/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 25 日 (2017.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配合ポリアミドを製造するための方法であって、当該方法は、1 またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスに、溶融したポリアミド供給原料を直接的に導入することを含み、該溶融した供給原料を重合プロセスによって調製し、前記重合プロセスが連続法またはバッチ法である、方法。

【請求項 2】

前記配合ポリアミドの付着の値が、 $2.0 \text{ mg} / 1000$ ショット未満である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記配合ポリアミドの相対粘度 (RV) の範囲がサンプル間で 2 単位未満である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記溶融したポリアミドの供給原料が、溶融したナイロン 66 の供給原料である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ポリマー配合デバイスが押出機である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記押出機が二軸押出機である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記二軸押出機のスクリュ軸の長さ：直径の比が、 $24 : 1 \sim 56 : 1$ の範囲内である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 1 またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスに 1 またはそれよりも多くの添加剤、充填剤、補強剤および改質剤を導入することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ポリマー重合プロセスが、前記 1 またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスから 50 フィート未満で生じる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

付着の値が $2.0 \text{ mg} / 1000$ ショット未満であり、相対粘度 (RV) が $40 \sim 10$

0 の範囲内である、配合ポリアミド。

【請求項 1 1】

前記ポリアミドがナイロン 6 6 である、請求項 1 0 に記載の配合ポリアミド。

【請求項 1 2】

1 またはそれよりも多くの添加剤、充填剤、補強剤および改質剤をさらに含む、請求項 1 0 に記載の配合ポリアミド。

【請求項 1 3】

相対粘度の範囲がサンプル間で 3 単位未満である、複数の配合ポリアミドのサンプル。

【請求項 1 4】

相対粘度の範囲がサンプル間で 2 単位未満である、請求項 1 3 に記載の複数の配合ポリアミドのサンプル。